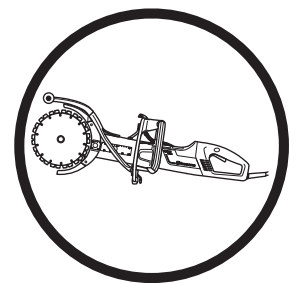


取扱説明書

K 3000 Cut-n-break

この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。



Japanese

記号の説明

シンボルの説明：

警告！ マシンは、正しくない使い方、いかなげんな使い方をすると、操作者や周囲の人に、重大な、あるいは致命的な傷害を引き起こす可能性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。



以下の装備を常に身に付けてください：

- ・ 承認されたヘルメット
- ・ 承認されたイヤマフ
- ・ 保護メガネまたはバイザー



本製品は、適用されるEC指令に準拠しています。



警告！ 切断時に発生するほこりを吸い込むことにより、損傷が生じる可能性があります。認可された呼吸マスクを使用してください。いつでも、十分に換気を行ってください。



警告！ 切断ブレードからの火花は、たとえば次のような可燃物に火をつけることがあります。ガソリン（ガス）、木、枯草など。



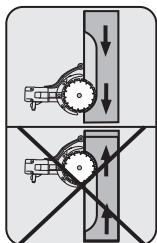
水冷却をいつも使用する必要があります。



警告！ キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。



いつも、正しい方向に切断してください。安全の指示事項を参照してください！



環境マーク。製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示しています。電気および電子設備の再利用のため、適切にリサイクル営業所に引き渡す必要があります。



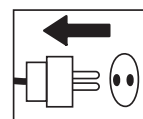
これを守ることで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。また、

本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。

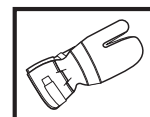
マシンに付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

取扱説明書における記号：

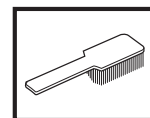
検査やメンテナンスは、モーターのスイッチを切り、またプラグの接続をはずして行います。



常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



外観検査。



保護ゴーグルやバイザーの着用が必要です。



目次

目次

記号の説明

シンボルの説明：	2
取扱説明書における記号：	2

目次

目次	3
----------	---

各部説明

パワーカッターの各部名称.....	4
-------------------	---

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ	5
使用者の身体保護具	5

安全上の指示事項

一般的な安全上の警告	6
マシンの安全装置?.....	8
ダイヤモンドブレード.....	10
一般的な作業方法.....	11

組立て

組立て	13
-----------	----

始動と停止

始動前に	14
始動	14
停止	14

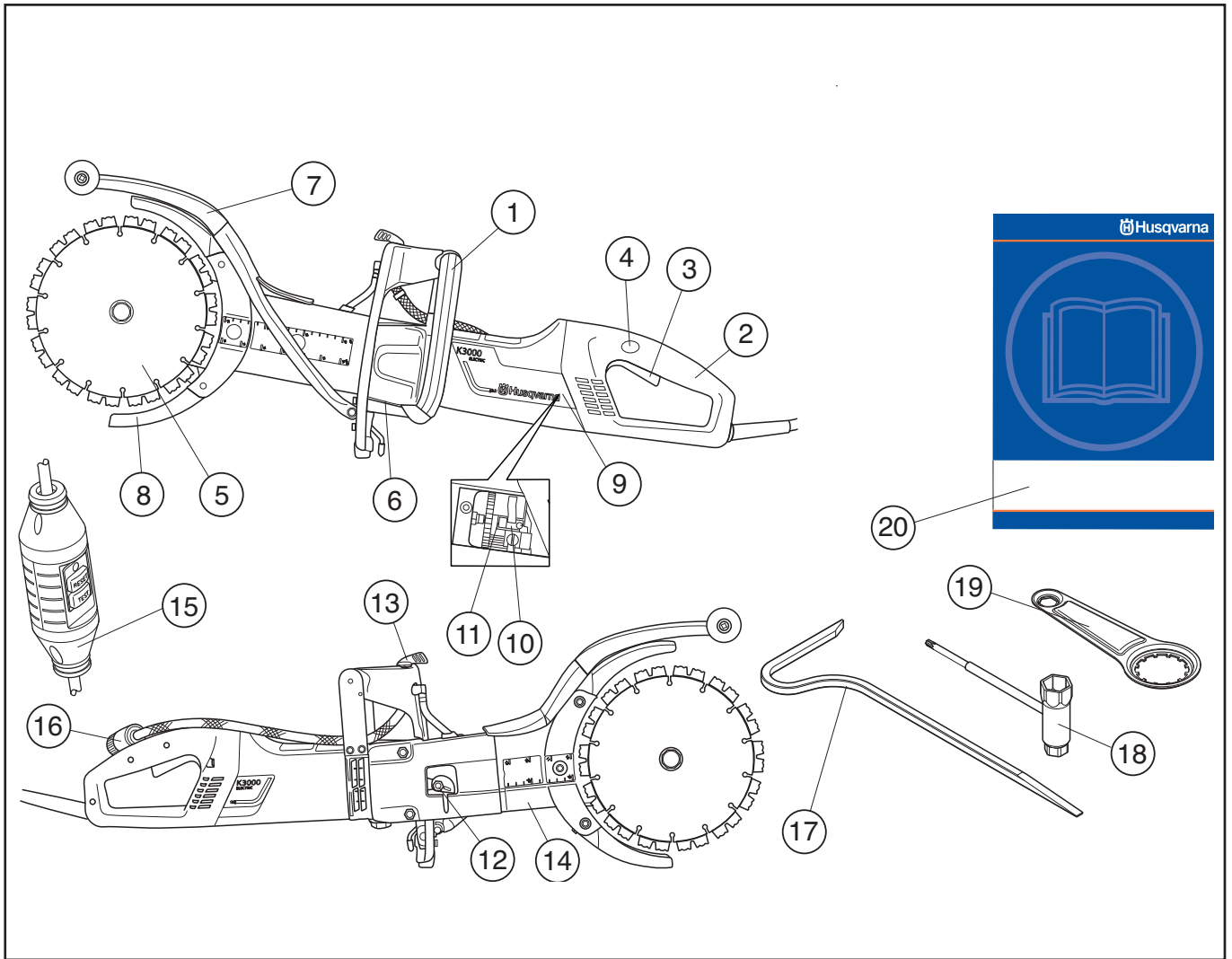
メンテナンス

メンテナンス	15
ドライブベルトの検査と調整	15
ドライブベルトの交換	15
冷却システム	16
カーボンブラシの交換	16
水タップ	16
電氣的フィード	17
日々のメンテナンス	17

主要諸元

切断装置	18
EC適合性宣言	19

各部説明



パワーカッターの各部名称

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. フロントハンドル | 11. ブラシリテーナベルトテンショナー |
| 2. リヤハンドル | 12. ベルトテンショナー |
| 3. スイッチ | 13. 水タップ |
| 4. パワースイッチロック | 14. 切断アーム |
| 5. ブレード | 15. 設置故障回路安全装置 |
| 6. タイププレート | 16. 水コネクター |
| 7. スプラッシュガード | 17. 遮断ツール |
| 8. ブレードガード | 18. コンビレンチ |
| 9. 検査カバーカーボンブラシ | 19. ベアリングツール |
| 10. カーボンブラシ | 20. 取扱説明書 |

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ

- この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- マシンは、コンクリート、レンガ、石、鉄、セメントパイプなど、硬い物質を切断することのみを目的として、設計されています。
- ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。



警告！いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなくチェンソーの設計に変更を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。



警告！物の切断、研磨、ドリル、やすりがけ、成形を行う製品の使用は、有害な化学物質を含む、ほこりや蒸気を発生させることがあります。扱っている物質の性質を理解し、適切な防塵マスク、あるいは呼吸保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは、継続的な製品改善を方針としています。ハスクバーナは、事前の通知なくして、製品の設計や外観を変更する権利を留保します。また、さらなる設計の変更を行う義務も負担しません。

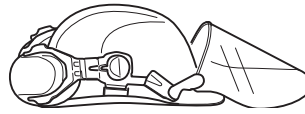
取扱説明書のあらゆる情報とデータは、取扱説明書が印刷された時点において適用されていたものです。

使用者の身体保護具

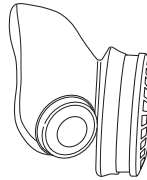


警告！マシンを使用するときは、認可のある身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

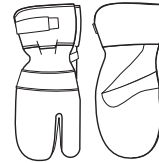
- 防護ヘルメット
- 防音マフラー
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 重作業用のしっかりと握れる手袋



- 自由に動くことのできる、ぴったりとした、重作業用の快適な衣服。



- 切断する物について推奨される、足用の保護具を使用します。
- つま先部スチール製、滑らない靴底の靴。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



安全上の指示事項

一般的な安全上の警告



警告！すべての安全上の警告と説明を理解してください。警告や説明に従わないと、電気ショック、火災、重大な傷害をもたらすことがあります。

今後の参照のために、すべての警告と指示を保存してください。

警告における「パワーツール」という用語は、主電源によって動作する（コードのある）パワーツール、あるいはバッテリーによって動作する（コードのない）パワーツルを意味します。

職場の安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体、ガス、ほこりが存在する場所など、爆発性雰囲気において、パワーカッターを使用しないでください。パワーツールは、火花を生じさせ、これはほこりやガスを発火させることがあります。
- 子供や周囲の人を、パワーツールの使用場所から遠ざけてください。注意散漫になると、コントロールを失うこととなります。
- 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が滑りやすくなるなど、危険な状態を招きます。
- 切断時は、何らかの物が崩れたり、落下したりして、操作上の傷害を発生させることがないように気をつけま。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。



警告！パワーカッターの安全距離は15メートルです。動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任が、操作者にはありません。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

電気安全

- パワーツールのプラグは、コンセントと一致するものを使用します。プラグを変形させたりしないでください。接地されたパワーツールとともにアダプタープラグを使用しないでください。変形されていないプラグと、一致したコンセントは、電気ショックのリスクを減少させます。
- パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、接地された表面に体を接触させないでください。感電すると、電気ショックの危険が高まります。
- パワーツールは、低洗浄システムによる供給よりも多い水にさらされてはいけません。パワーツールを雨にさらしてはいけません。パワーツールに水が入ると、電気ショックの危険が高まります。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張ることによって、パワーツールを運んだり、引いたり、あるいはプラグを抜いたりしないでください。コードを熱、オイル、鋭い部分、移動する部品などから遠ざけま。コードが損傷したり、もつれたりすると、電気ショックの危険が高まります。
- パワーツールを野外で使用するときは、野外での使用に適した延長コードを使用します。野外使用に適したコードを使うことで、電気ショックの危険を減少させることができます。
- コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。コードが損傷している場合は、マシンを絶対に使用せず、認定修理店へ修理のために引き渡してください。
- 過熱を防ぐため、束ねられた状態で延長コードを使用しないでください。
- 延長ケーブルを使用するときは、十分な長さのある認証済みの延長ケーブルのみを使用します。詳しくは、「主要諸元」の「推奨されるケーブル寸法」を参照してください。ケーブルのサイズが小さいと、機械能力の減少や、過熱する危険があります。
- マシンは、アース線コンセントのソケットと接続するようにしてください。本線の電圧が、マシンの定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。
- マシンを使用する前に、コードが自分の後ろにあり、コードが損傷することがないことを確認してください。

安全上の指示事項

個人の安全

- ・ パワーツールを使用するときは、注意して、自分のしていることを確認し、常識をもって行ってください。疲れているとき、薬、アルコール、医薬品を使用しているときなどは、パワーツールを使用しないでください。パワーツールを使用するときの不注意が、重大な傷害をもたらす可能性があります。
- ・ 身体保護具を着用してください。目の保護具を着用してください。状況に応じて使用される、適切な防塵マスク、滑り止め可能な施された靴、ヘルメット、聴覚防護具は、傷害の危険を減少させます。
- ・ 意図しない始動を防いでください。電源やバッテリーパックに接続する前、ツールを持ち上げたり運んだりする前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチに触れたままパワーツールを運んだり、スイッチがオンの状態で電源がついたまま運ぶことは、事故を招きます。
- ・ パワーツールをオンにする前に、あらゆる調整キーやレンチを外してください。パワーツールの回転部分にレンチやキーが取り付けられていると、傷害を招きます。
- ・ 腕などを伸ばしすぎないでください。適切な足場とバランスを、いつも保つようにしてください。これにより、予期しない状況でもパワーツールを制御することができます。
- ・ 適切な衣服を着用してください。大き過ぎる服や、宝石などを着用してはいけません。髪の毛、衣服、手袋が、動作する部品に触れないようにしてください。大き過ぎる衣服、宝石、長い髪の毛は、動作する部品に巻き込まれることがあります。
- ・ ほこりの抜き取り、収集のため設備への接続のための装置があるときは、これらが適切に接続・使用されていることを確認してください。ほこりの収集をすることにより、ほこりに関した危険を減少させることができます。
- ・ エンジンの動作中においては、ブレードから距離を保ちます。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。これらの症状には、無感覚、感覚の喪失、うずき、ちくちくとした痛み、苦痛、体力の喪失、肌の色または状態の変化が含まれます。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

パワーツールの使用と注意

- ・ パワーツールに無理をさせないでください。用途に応じた、正しいパワーツールを使用してください。適切なパワーツールは、仕事をより効率的に、安全に実施することができます。
- ・ スイッチによってオン・オフに切り替えができないときは、パワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは、危険ですので、修理の必要があります。
- ・ 何らかの調整、付属品の変更、パワーツールの保管を行うときは、電源やバッテリーパックからパワーツールのプラグを引き抜きます。こうした予防的な安全処置によって、パワーツールが突然に始動する危険を減少させます。
- ・ 使用していないパワーツールを子供の手の届くところに保管したり、パワーツールに詳しくない人や取扱説明を理解していない人にパワーツールの操作をさせないでください。訓練を受けていない操作者がパワーツールを使用することは危険です。
- ・ パワーツールのメンテナンスをしてください。移動部品のずれや接合、部品の破損、その他を確認して、パワーツールの操作に影響を与えるような状況がないか調べます。損傷のあるときは、パワーツールの使用前に修理してください。多くの事故は、パワーツールのメンテナンスが不十分であることに起因します。
- ・ 切断ツールを鋭く、清潔に保ってください。適切にメンテナンスされた、鋭い切断部分を有する切断ツールは、つかえたりするこなく、制御が容易です。
- ・ パワーツール、付属品、ツール部品などは、取扱説明書に従って使用して、作業状況や実施する作業の対象を考慮に入れてください。パワーカッターを意図されていない作業用途に使用することは、危険な状況を招きます。
- ・ 何らかの改造を受けて出荷時の仕様とは異なっているマシンは、絶対に使用しないでください。
- ・ 切断場所に、管、電気ケーブルが通っていないことを確認します。
- ・ 常に、ガス管の通っている場所を確認し、印をつけてください。ガス管の付近で切断を行うと、危険が高まります。爆発の危険があるため、切断中に火花が発生しないようにしてください。作業に集中してください。不注意により、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。
- ・ 移動または保管中に損傷が発生していないか、新しいブレードを検査します。
- ・ 切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。

点検

- ・ 資格のある修理担当者に、パワーツールの点検をしてもらってください。また、同一の交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全が確保されます。

安全上の指示事項

マシンの安全装置？

この項目では、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。この装置がマシンのどこに位置しているかを確認するため、「各部名称」の項目を参照してください。

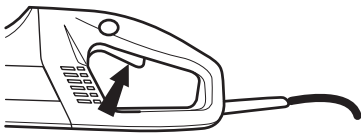


警告！ 欠陥のある安全装置を装着したマシンは決して使用しないでください。本項目に定めてある、検査、メンテナンス、点検を定期的に行ってください。

マシンに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。マシンの安全装置には、特にこのことが該当します。マシンが下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。当社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。マシンを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

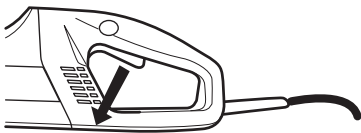
スイッチ

電源スイッチを、マシンの始動や停止に使用しないでください。



パワースイッチの検査

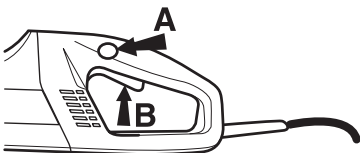
- マシンを始動させ、パワースイッチを解除し、エンジンと切断ブレードが停止していることを確認します。



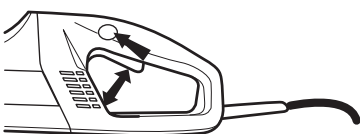
- 不良のあるパワースイッチは、承認されたサービス代理店で交換してください。

パワースイッチロック

パワースイッチロックは、スイッチの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) が押されているときは、スイッチ (B) が解除されています。

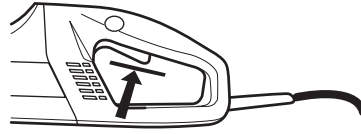


パワースイッチロックは、パワースイッチが押されている間、押された状態のままになります。ハンドルのグリップを放すと、パワースイッチとパワースイッチロックの両方がリセットされます。この動きは、2つの独立したリターンスプリングによって制御されています。この位置では、マシンが停止し、パワースイッチがロックされます。

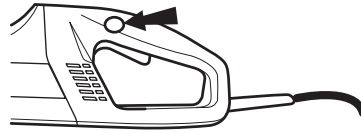


パワースイッチロックの検査

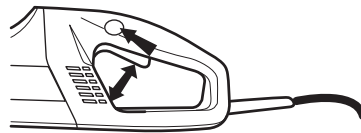
- パワースイッチロックが元の位置にあるとき、パワースイッチがロックされていることを確認します。



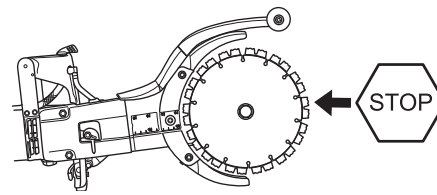
- パワースイッチロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- パワースイッチとパワースイッチロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。



- マシンのスイッチを入れ、スイッチを放し、エンジンとブレードが停止していることを確認します。



段階的な始動と過負荷の保護

マシンは、電氣的に制御された段階的始動と過負荷保護のための装置を有しています。

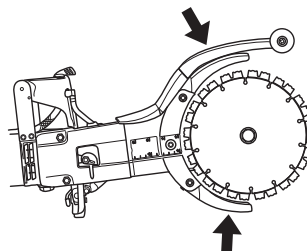
マシンが特定のレベルよりも上で負荷を受けているときは、エンジンは振動を始めます。負荷が下がると、エンジンは通常の状態に戻り、切断を再開することができます。

マシンが、エンジンを振動させた状態で動作を続ける場合、電子機器の働きによって、一定時間後、電流が切断されます。負荷が大きければ大きいほど、切断は早くなります。

ブレードがジャミングを起こした場合、電子機器の働きにより、電流は即時に切断されます。

ブレードガード

このガードは、切断ブレードの上下に取り付けられ、ブレードの部品や切断において生じた破片が、操作者に飛び散ることを防ぎます。



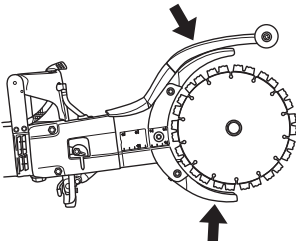
安全上の指示事項

ブレードガードの検査



警告！マシンを始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。切断ブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

- ガードに問題がなく、ひびや変形のないことを確認します。
- 欠陥のあるガードや、正しく装着されていないガードは使用しないでください。



設置故障回路安全装置

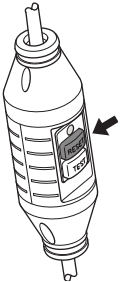
設置故障回路安全装置は、電気的故障が発生した場合の保護の役割を持っています。

設置故障回路安全装置がオンの場合、およびマシンのスイッチをオンにすることができる場合、LEDが点灯します。LEDがオンではないとき、RESET ボタン（緑）を押します。



設置故障回路安全装置の検査

- マシンをソケットに接続します。RESET ボタン（緑）を押すと、赤いLEDが点灯します。



- マシンを始動させます。
- TESTボタン（青）を押します。



- 設置故障回路安全装置がトリップ状態になり、マシンのスイッチは即時にオフになります。以上のようなときは、代理店に問い合わせてください。
- RESET ボタン（緑）でリセットします。

ダイヤモンドブレード



警告！ブレードは、破損して、使用者に対して深刻な傷害を発生させることがあります。

マシン専用に設計された純正のブレード以外のブレードは絶対に使用しないでください。

用途として定められている物質以外には、ブレードを使用しないでください。

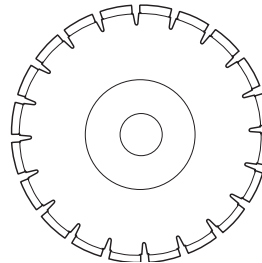


警告！ダイヤモンドブレードでプラスチックを切断すると、切断中に発生した熱によって物質が溶け、キックバックを発生させます。

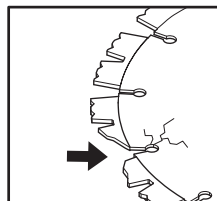
また、ブレードにプラスチックが付着します。プラスチック切断の回避

はじめに

- 本機については、内蔵ベルトプリーハーフのある専用ダイヤモンドブレードのみを使用します。
- ダイヤモンドブレードは、工業ダイヤモンドを含む部分のある、鋼鉄ボディーによって構成されています。



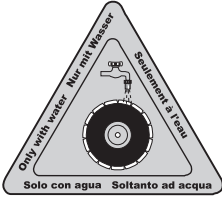
- いつも、鋭い状態のダイヤモンドブレードを使用してください。
- ブレードに、何らかのひびや損傷がないことを確認します。
- 必要に応じブレードを交換します。



安全上の指示事項

水冷却

- 水冷却をいつも使用する必要があります。これによって、ブレードを冷却し、寿命を延ばし、ほこりが蓄積することを防ぎます。



警告！湿式の切断用に設計されたダイヤモンドブレードを、継続的に水で冷却して過熱を防ぎます。過熱されると、ダイヤモンドブレードが変形し、マシンに対する損傷と人的傷害を招きます。

ブレードの振動

- フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。
- フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。「ブレードの組立」の説明を参照してください。
- ブレードによって、物質の切断ができるようになります。

物質

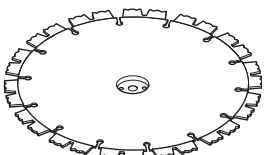
- ダイヤモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。ダイヤモンドブレードは、金属の切断には向いていません。
- ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類によって提供されています。ブレードによって、物質の切断ができるようになります。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、比較的短い使用期間を持ち、切断能力が高く設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、長い使用期間を持ち、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

- ダイヤモンドブレードは、動作時にかける圧力が間違っているときや、高度に強化されたコンクリートを切断するときには、鋭さを失います。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆるみを生じさせることがあります。
- ブレードを、砂岩やレンガなどの柔らかい物質を切断することにより、研いでください。

高速手持ち式マシン

- 本機については、内蔵ベルトプリーハーフのある専用ブレードのみを使用します。
- ブレードは、マシンの定格プレートに記載されている速度と同一またはそれよりも速い速度が示されている必要があります。パワーカッターの規格よりも低い速度においてブレードを使用してはいけません。



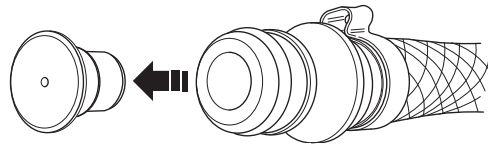
一般的な作業方法



警告！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

水冷却

水冷却をいつも使用する必要があります。



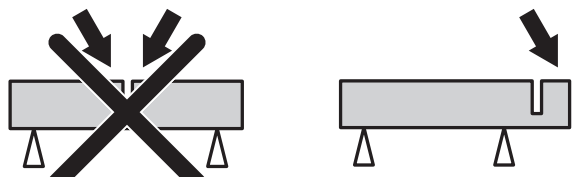
水タンクが使用されたときなど、水圧が低い場合は、制限器を外して、正しい水流にすることができます。

注意！

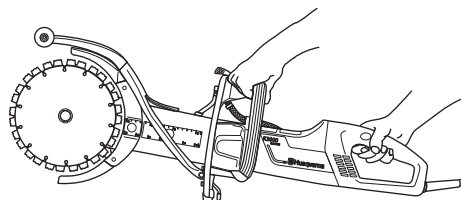
ベルトが滑ることがあるため、絞りをかけていない高圧な水を使用しないことが重要です。

切断技術

- 作業の対象を、動きの予想できるような位置で固定し、かつ、切断面が切断中によく分かるようにします。



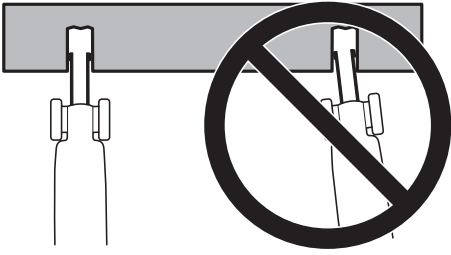
- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。



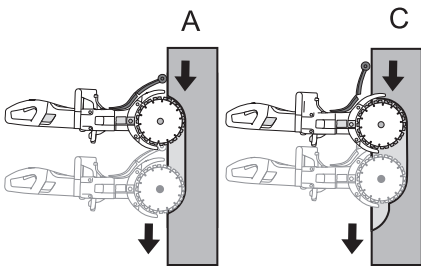
- マシンが始動したときは、ブレードが何かに接触しないようにします。
- マシンが最大速度で動作している状態で、切断を開始します。
- 切断は、スムーズに行い、マシンのブレードに力や圧力がかからないようにします。いつも、最大速度において切断してください。

安全上の指示事項

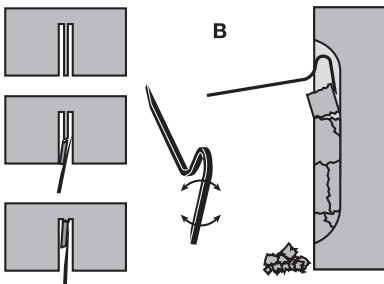
- すでにある切り口から切断をするときは、同じ方向から切断をします。以前の切り口に対して斜めの方向から切断することは避けてください。ブレードのジャミング、またはマシンが切り込みに入り込むことがあります。




- いつも、上から下へ切断を行うようにしてください。
カッターを取り除き、バールを使用して、切り込み(B)の間に残っている物質を取り除きます。



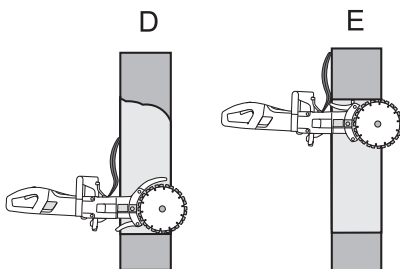
- 同じ切り込みに沿わせますが、今度は作業部分(C)まで行い、バールで作業を繰り返します。



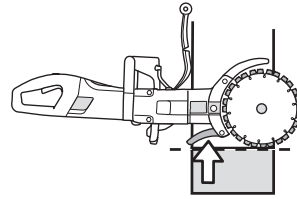



警告！ 垂直に切断するときは、いつも、切り口の上から下に切るようにします。切り口の下から上に切断を行ってはいけません。キックバックを引き起こし、傷害を発生させるおそれがあります。

- 必要な切断深度に達するまで、作業手順を繰り返します (D、E)。



- ブレードガードは、パワーカッターが作業対象に対してどの程度の深さまで移動するかにつき、容易に適應できるよう設計されています。





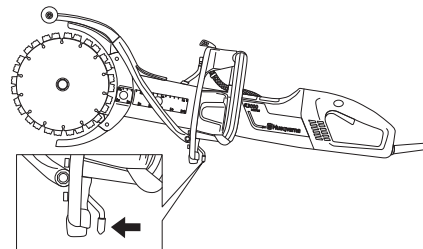
警告！ いかなる場合でも、チェーンの横側を使用してこすったりしてはいけません。ほぼ間違いなく損傷が発生し、破損して重大な被害をもたらします。切断用の部分のみを使用してください。

パワーカッターを横に引かないでください。ブレードのジャム、破損につながり、人に対して傷害を引き起こすことがあります。

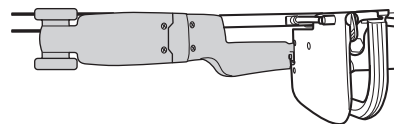
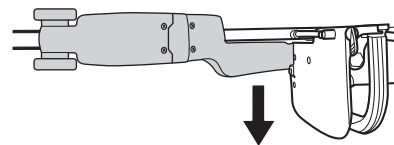
スムーズな切断

スムーズな切断を行うため、スプラッシュガードが調整される必要があります。

- ラッチを解放します。



- スプラッシュガードを横にスライドさせます。



- ラッチをロックします。

安全上の指示事項

キックバック

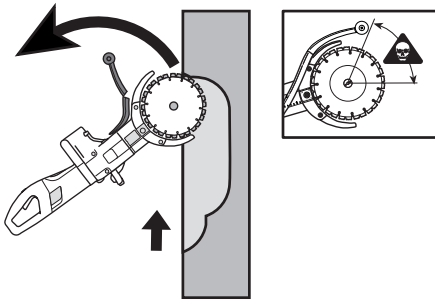
キックバックは、キックバックゾーンと呼ばれる場所において、ブレードが静止（挟まる、ジャミング、ゆがみ）することによって、ソーが突然に後方に動くことをいいます。多くのキックバックは、小さいものであり、フロントハンドルの小さな動きとして感じられます。しかし、キックバックは時として非常に力のあるものになります。注意をしていないときや、ソーを弱く握っているときは、使用者に向かって跳ね返ってくる場合があります。



警告！キックバックは非常に突然かつ激しいものであり、ソーが使用者に向かって跳ね返ることがあります。重大な、あるいは致命的な傷害をもたらすことがあります。キックバックを生じさせる原因を理解し、適切な切断技術を使用してキックバックを避けることが重要です。

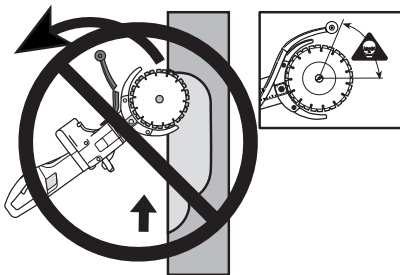
キックバックの原因

キックバックは、ブレードのキックバックゾーンにおいて、例えば、上方あるいは使用者の方向に切断しているときに発生します。

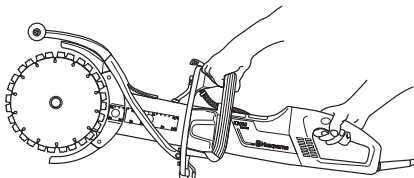


一般的な注意事項

- キックバックゾーンが積極的に切断に使用されないよう、上方向または使用者に向かって切断しないようにします。



- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。



- バランスを保ち、安定した足場を確保します。
- 垂直に切断するときは、いつも、切り口の上から下に切るようにします。
- いつも、最大速度において切断してください。
- ブレードの上部4分の1（キックバックゾーン）で切断を行わないでください。切断部において、ブレードの横面をひねったり、押したりしてはいけません。キックバックを生じさせることがあります。

- すでに切断した部分にブレードを再び挿入するときは、注意してください。切断部が十分に広く、ブレードが切断部において斜めになっていないことを確認します。キックバックを生じさせることがあります。
- 作業対象の物から、安全な距離を保ちます。
- 肩よりも高い部分の切断をしないでください。
- はしごから切断を行わないでください。高所で作業をするときは、踏み台または足場を使用してください。
- 作業対象物あるいはその他の物が動かないよう注意してください。切断部分が閉じられ、ブレードが挟み込まれることがあります。

引き込み

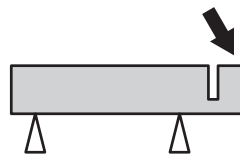
引き込みは、ディスクの下部部分が突然停止した場合や、切断部分が閉じた場合に起こります。（これを防止するためには、下記の「基本ルールおよびジャミングと回転」を参照してください。）

挟み込み/回転

切断部分に圧力がかかると、ジャミングを引き起こすことがあります。マシンが突然の力によって引き込まれる可能性があります。

挟み込みの避け方

切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれた状態が保たれるよう、作業対象物を固定しておきます。



エンジン速度の検査

積算回転計を一定の間隔で確認し、エンジン速度が作業温度に保たれ、フルスロットルで、負荷のないことを確かめます。

組立て

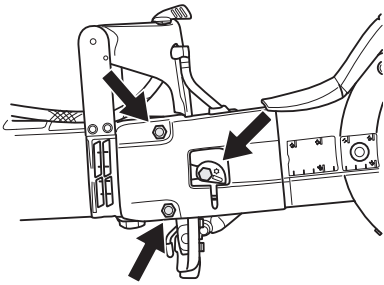
組立て



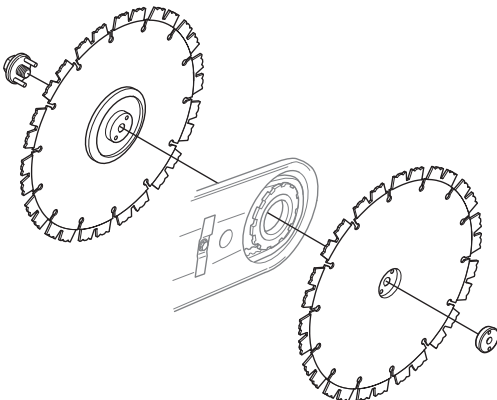
警告！清掃、メンテナンス、組立を行うときは、必ずプラグをソケットから抜いてください。

ブレードの組立

- ハスクバーナのブレードは、K3000 Cut-n-Breakによってフリーハンド切断をするために、特別に製造かつ承認されています。ブレードは、一体的なベルトプリーハーフを装備し、一式合わせて交換されます。
- ナットをゆるめ、ボルトを外し、バーを取り外します。これにより、新しいブレードの取り付け時に、ドライブベルトがより正しい位置にあるようにします。**ドライブベルトは、容易には取り付けできません。**



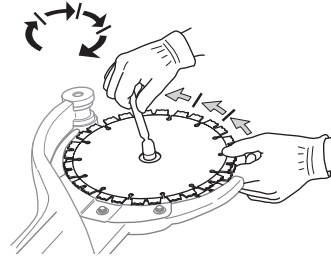
- 中心のナットをゆるめて、ブレードを外します。ブレードを外すときは、ドライブベルトを確認して、摩耗がないか調べます。ドライブベルトを交換するときは、「ドライブベルトの交換」の項目にある説明を参照してください。
- ブレードを切断アームの各側面に取り付けます。ドライブベルトハーフの両方のガイドピンのための穴が、一列に並び、ウォッシャーの穴と一致することを確認します。また、ナットについても確認します。ガイドピンによって、ボルトとウォッシャーユニットを取り付けます。



注意！

ナットが締められるときには、ブレードが回転することが重要です。これは、ブレード/ドライブベルトがナットと一緒に引っぱられたときに、ベルトがブレード上の一体型ドライブベルトハーフの間で締めつけられていないことを確

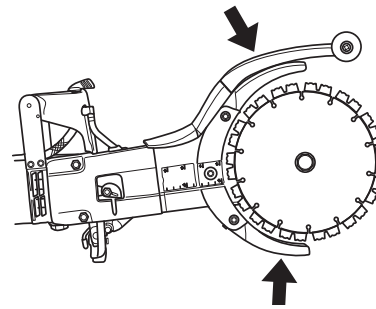
認するためです。理想的には、これは交互に行うことが効果的です。つまり、少し締め、少し回転させ、これをブレードが固定されるまで続けます。



重要！ベルトを締め、切断の前にベルト調整を確認することを忘れないでください。「ドライブベルトの検査と調整」の項目の説明を参照してください。

ブレードの保護

- ガードが、マシンにいつも取り付けられている必要があります。切断作業の前には、ガードが適切に固定されていることを確認してください。



始動と停止

始動前に



警告！始動時には以下の注意点を守ってください：

マシンは、アース線コンセントのソケットと接続するようにしてください。

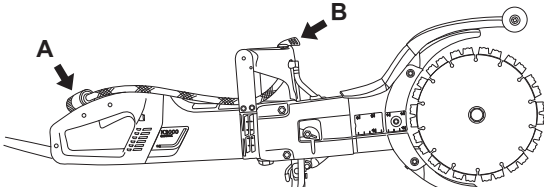
本線の電圧が、マシンの定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。

足場が良いことと切断ブレードが他の物に接触しないことを確認してください。

作業場所に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

水コネクタ

- 水ホースを水供給部分 (A) に接続します。水の流れるは、水タップ (B) を使用して調整できます。



設置故障回路安全装置



警告！ツールは、必ず提供された接地故障回路遮断器と一緒に使用してください。不注意によって、重傷や死亡事故が起きる可能性があります。

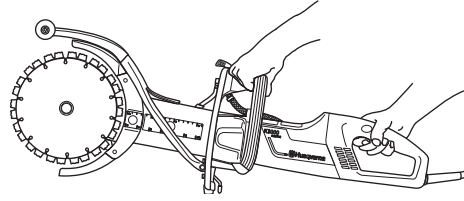
- 設置故障回路安全装置のスイッチがオンになっていることを確認します。設置故障回路安全装置がオンの場合、およびマシンのスイッチをオンにすることができる場合、LEDが点灯します。LEDがオンではないとき、RESET ボタン (緑) を押します。



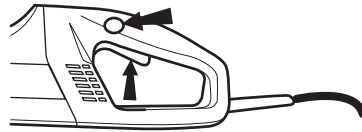
- 設置故障回路安全装置の検査。詳細は、「マシンの安全装置の検査・メンテナンス・点検」を参照してください。

始動

- 左手でフロントハンドルを握ります。
- 右手でリアハンドルを握ります。



- 右手の親指でパワースイッチロックを押し、パワースイッチを押します。



- 無負荷の状態でもマシンを動作させ、安全な状態で最低30秒運転させます。

停止

- パワースイッチを放して、モーターを停止させます。



警告！モーターが停止した後、切断ブレードはしばらくの間、回転を続けます。

メンテナンス

はじめに



警告！検査やメンテナンスは、モーターのスイッチを切り、またプラグの接続をはずして行います。

清掃



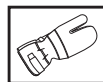
警告！本機の内部を洗浄するときは、高圧水を使用しないでください。

本機は切断中に発生する湿り気のある空気や水しぶきの浸入に耐えることができます。きれいな水であれば、本機の機能に影響を与えることはありません。

コンクリートやれんがなど、塩分を含む物質を切断するとき、作業の終了後に本機を洗浄する必要があります。洗浄をすると、エンジン内の付着物の蓄積を防ぎます。付着物が蓄積すると、電子部品間の漏れ電流を発生させ、接地故障回路遮断器が不意にオフになることがあります。

- ・ 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。
- ・ リアハンドルを上方に向けるように置きます。きれいな水でリアハンドルの吸気口を洗浄します。前面の排気口から水が流れていきます。
- ・ エンジンの乾燥を早めるため、プラグを接続し、30秒間ほどエンジンを運転させます。

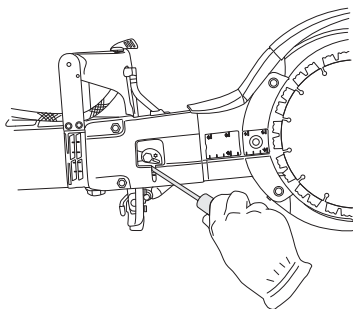
ドライブベルトの検査と調整



- ・ ドライブベルトは完全に閉じられ、切断中にほこり、汚れ、機械的な損傷から十分に保護されています。

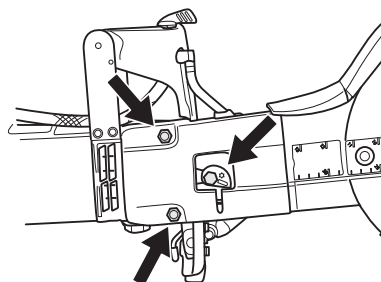
ドライブベルトの張りを検査します。

- ・ ノッチにねじ回しを入れます。
- ・ 正しく調整されたドライブベルトは、5ミリほどの移動をします。

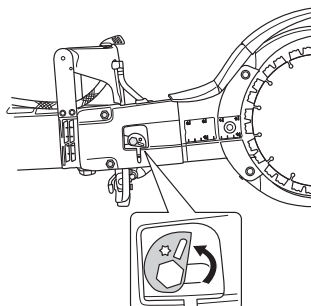


ドライブベルトの引き締め

- ・ 2つのナットをゆるめます。
- ・ クランプねじをゆるめます。



- ・ ねじ回しあるいはトルクスドライバーで偏心プレートを反時計回りにまわします。バーを前方に押すことで、ドライブベルトが締まります。

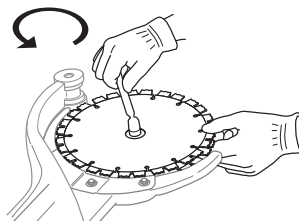


- ・ ナットを締めます。
- ・ ボルトを固く回します。偏心プレートを静止させ、ねじを締めるときに一緒に動かないようにします。

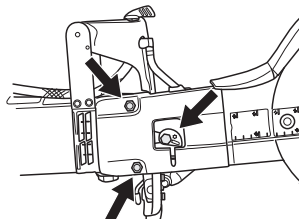
重要！新しいドライブベルトは、30から60分の作業後に、再び引き締める必要があります。

ドライブベルトの交換

- ・ ベルトの引き締めに弱めます。
- ・ ブレードを外します。

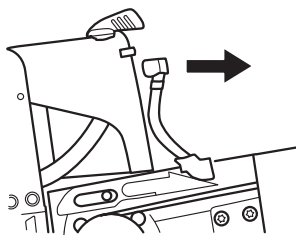


- ・ ナット、クランプボルト、偏心カムを緩めて、ボルトカバーを外します。

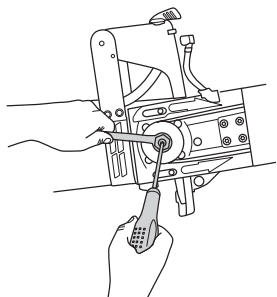


メンテナンス

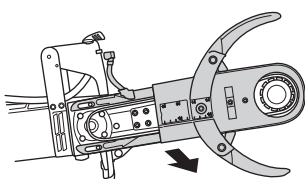
- 水ホースをゆるめます。



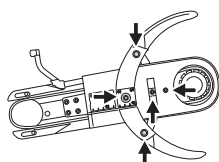
- ドライブギアをゆるめます。カウンターホールドとしてスパナを使用します。（コンビレンチやベアリングツールが、カウンターホールドとして使用できます。）



- マシンからまっすぐ引きだすことで、切断アームを取り除きます。



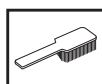
- 切断アーム上でガードを保持している5つのねじをゆるめます。



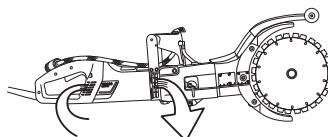
- 古いドライブベルトを取り除き、新しいものを取り付けます。
- 切断アーム上にガードを再度取り付けます。
- ドライブホイールを固定する間、マシン上に切断アームを取り付けます。
- 水ホースを交換します。
- ベルトカバー、ナット、クランプボルト、偏心カムを再度取り付けます。
- ブレードを再度取り付け、ナットを締めます。「ブレードの組立」の項目の説明を参照してください。
- ドライブベルト、ナットとボルトを締めます。「ドライブベルトの検査と調整」の項目の説明を参照してください。

重要！ベルトを締め、切断の前にベルト調整を確認することを忘れないでください。「ドライブベルトの検査と調整」の項目の説明を参照してください。

冷却システム



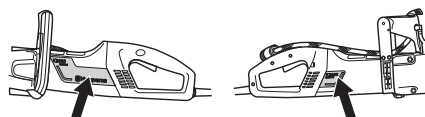
- マシンには、モーターを冷却するための効率ファンが装備されています。マシンのリアハンドルによってグリルから引きこまれた冷却用空気は、ステーターとローターに流れ込み、モーターハウジングの前面から排出されます。



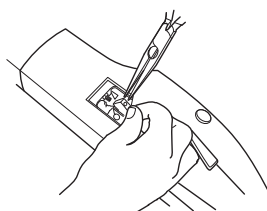
- マシンがいつも十分に冷却されているためには、冷却用空気用口が清潔できれいな状態である必要があります。圧縮空気により、定期的にマシンの汚れを吹き落としてください。

カーボンブラシの交換

- 少なくとも1か月に1階はカーボンブラシを検査してください。カーボンブラシは、損耗、ひび割れ、その他の変形があるときには、新しいブラシと交換される必要があります。
- カーボンブラシの交換の場合は、すべてのカーボンブラシを交換します。
- 両方のねじをゆるめ、両方の検査カバーを外します。



- カーボンブラシを保持しているケーブルのねじを外します。スプリングを持ち上げ、カーボンブラシをブラシリテーナから取り出します。



- 乾いたブラシで、ブラシリテーナを清掃します。
- ほこりを注意深く吹き払います。
- 新しいカーボンブラシを取り付け、同時に、ブラシリテーナの内部で容易にスライドすることを確認します。
- スプリングを折りたたみ、ケーブルを引き締めます。
- 新しいカーボンブラシは、アイドルリング中に約40分のならし運転をする必要があります。

水タップ

- 必要であれば、制限器を検査し、清掃します。ゆがんだり、摩耗や損傷のあるホースを使用しないでください。

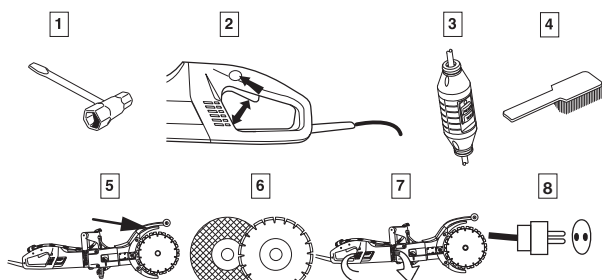
電氣的フィード



警告! 損傷のあるケーブルを使用しないでください。重大な、あるいは致命的な傷害をもたらすことがあります。

コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。コードが損傷している場合は、マシンを絶対に使用せず、認定修理店へ修理のために引き渡してください。

日々のメンテナンス



1. ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。
2. パワースイッチユニットがスムーズに動作することを確認します。
3. 設置故障回路安全装置の検査
4. チェンソーの外側を清掃します。
5. ブレードガードの検査
6. 切断ブレードの状態を検査します。
7. 冷却用空気口の検査と清掃を行います。
8. コードと延長コードが、損傷を受けず、良好な状態を保つようにしてください。

主要諸元

主要諸元	K 3000 Cut-n-Break
エンジン	
保護クラス	I
最大ブレード速度, rpm	4700
定格電圧, V	
ヨーロッパ	230
イギリス	110
アメリカ/カナダ/日本	100-120
定格出力, W	
ヨーロッパ	2700/12 A
イギリス	2200/20 A
アメリカ/カナダ/日本	15 A, 50-60 Hz
重量	
ブレードの無い状態のパワーカッター, kg	7.9
水冷却	
水冷却	はい
水コネクター	タイプ・ガーディナ
水圧 - 最大, บาร์	8

切断装置

切断ブレード, mm/インチ	ギア比	最大周辺速度, m/s	切断深度, mm/インチ
225/9	45/79	60	400/16

推奨されるケーブル寸法

ケーブル領域	1.5 mm ²	2.5 mm ²
入力電圧 100-120 V	20 m	40 m
入力電圧 220-240 V	30 m	50 m



取扱説明書（オリジナル）

1153344-79



2010-02-10